

平成28年度障害者支援施設光陽荘事業報告

第1 概況

光陽荘は、社会福祉法の福祉サービスの基本的理念にいう個人の尊厳の保持を旨として、利用者がその有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、利用者のニーズも踏まえた良質かつ適切なサービスの提供に努めている。

1 利用者の状況

若年層の活発な利用者がいる一方で、障害の重度化と高齢化もより深刻となっている。急変による退所者2名、特養への移行者1名があり、入退所の頻度も高くなっている。入退所の対応については丁寧に実施することができた。

2 利用者満足度

利用者一人ひとりの個別支援計画を作成し目標の達成に努めた。その一貫として、利用者が「やりたい活動」を選択できるよう、多様なサービスメニューを用意するとともに、個別の支援において、個々人のニーズにきめ細かく応え満足が得られた。自ら意思を決定することが困難な利用者に対する意思決定支援については、基本的考え方・姿勢・方法・配慮すべき事項等が国のガイドラインで示されたため、今後これに基づいて取組みを行う。

3 権利擁護、健康支援・安心安全支援

① 権利擁護（虐待防止・身体拘束解消）

虐待防止については、自己の振り返り、他者評価等で気づきの機会を設けることや、標語のインプットなど意識を高める取組みを行った。身体拘束についても、やむを得ない状況かを点検し不要な拘束は廃止した。権利擁護については、障害者差別解消法、意思決定支援なども鑑み更に取組を強化していく必要がある。

② 健康支援

利用者の健康状況を常に掌握し、適切な支援を行うとともに、身体状況の変化や医療上の変化を的確に捉え、嘱託医、協力医療機関の協力を得て、疾病の予防と早期対応を図った。感染症については、3月にインフルエンザA型の発症があったが、直ちに感染対策の強化徹底を実施し、拡大には至らなかった。

③ 安心安全支援

防犯について、神奈川県相模原市の障害者支援施設で起きた殺傷事件を受け、直ちに施設の防犯対策を強化した。主なものとして、セキュリティシステムの導入と菊川警察署による職員を対象とした防犯訓練の実施、防犯用品の購入等がある。

防災についても、地震・風水害対策として、施設の立地条件・利用者の特性・発生時間などに応じた対応ができるよう防災マニュアルを見直し整備した。また、平常時にしておくべき対策が大事であるため、備蓄品の点検・充足及びメールシステムを活用した訓練を実施するなど力を入れた。

利用者の状況に伴い、事故等のリスクも高まる中、リスクマネジメントを効果的に行う必要がある、委員会を中心にアクシデントをデータ化し分析することで一定の成果を上げている。

第2 全体の状況

1 利用状況

施設入所者数は、年度末近くに2名の退所があり、入替の入所が4月になったことにより、年度末地点で定員50名、内現員は48名となっている。グループホームたんぽぽは年間通し5人の定員を満たしている。事業ごとの利用率をみると、施設入所事業が98.3%、日中の生活介護事業が111.5%、短期入所事業が42.7%、たんぽぽの共同生活援助事業（グループホーム）が99.9%であった。施設入所・生活介護・短期入所の利用率は前年比で若干の増であった。

年度	施設入所		生活介護		短期入所		グループホーム	
	定員	利用率	定員	利用率	定員	利用率	定員	利用率
H27年度	50	97.7%	50	111.2%	4	37.2%	5	100.0%
H28年度	50	98.3%	50	111.5%	4	42.7%	5	99.9%

2 経営状況

拠点区分光陽荘（施設入所、生活介護、短期入所、特定相談支援事業及び共同生活介護、法人本部）の介護給付費等の障害福祉サービス等事業収入は352,711千円で、その他収入を加えた収入合計は355,780千円となり、前年度151千円減ではあるがほぼ同じである。報酬改定のない年度で利用率も増であったが、収入が前年比で伸びなかった理由は、新規入所者1名の障害程度区分が低いことが主なものである。

一方、支出合計は286,824千円と、前年度に比べ10,687千円と大きく減となった。人件費が前年比6,573千円減であるが、主な理由として、産育休職員分等の人員確保に苦慮したことと、非常勤介護職員2名退職の補充を意図的にしなかったためであり、職員が充足されれば本来の数字に戻るものである。

事業活動の収支差額（サービス活動増減差額）としては、他拠点への繰入金費用（支出）を除き、53,330千円増であり、当年度も安定した経営が出来ている。＜28年度の数値はいずれも決算見込み。以下、同じ。＞

＜光陽荘（拠点区分）＞

収入

(千円)

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減
障害福祉サービス等事業収入	352,711	352,628	83
その他の収入	3,069	3,303	△234
計	355,780	355,931	△151

支出

(千円)

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減
人 件 費	203,158	209,731	△6,573
事務費・事業費等	83,666	87,780	△4,114
計	286,824	297,511	△10,687

3 職員の状況

生活介護サービス費における人員配置体制加算で最も高い区分である「1. 7 : 1」及び加算要件の加配分を満たす職員配置基準の確保に努めた。

平成28年度末の職員数は53名で、そのうち介護職員は常勤25名と非常勤14名、看護職員等は常勤1名と非常勤5名である。

子育て中の職員でも働きやすい職場の環境作りに努め、仕事と子育ての両立を応援した。

(平成29年3月31日現在) (人)

区 分	事 務 室		介護職員	医務室	調理	計
職 名	施設長 事務長 介護部長	介護部主幹 生活相談員 事務室員	主任 副主任 一般	看護職員 歯科衛生士	管理栄養士	
正 規	3	3	25	1	1	33
非正規		2	14	5		20
計	3	5	39	6	1	53
28年同期	3	5	40	5	1	54

- ・医務室兼事務室職員1名各々カウント（合計は実人員）
- ・育休職員は含まない（介護職員、正規3名・非正規1名）

4 施設整備等の状況

施行等の時期	整備等の内容	費用等
6月	スチームコンベクション入替（厨房機器）	1,233,300円
8月	防災倉庫設置（増設）	297,800円
9月	エアコン入替（居室3部屋）	756,000円
	浄化槽ブローア交換工事	758,700円
10月	汚物除去機（洗濯機）	920,100円
	自動ドア修繕工事	324,000円
12月	エアコン入替（居室1部屋）	270,000円
3月	浴室改修工事基本設計業務委託	972,000円
	浴室改修工事实施設計業務委託	972,000円

5 その他

(1) 職員研修（資料 28・29）

研修への積極的参加を促し、研修結果を職員全体会議等の場において報告を求め、広く職員の資質の向上及び利用者支援・サービスの充実に資することができた。外部研修や研究大会についてもできる限り積極的に参加し、多くの職員が知識や技術を深めることができた。

(2) 会議の開催

全職員に対する施設の基本方針及び重要案件の確認、周知並びに職員研修の場として、四半期ごとに職員全体会議を開催し、円滑な施設運営と支援能力の向上のために資することができた。また、日常的・短期的な課題、行事等に関する協議、及び適切な利用者サービスや効率的な施設運営等のために、月1回管理運営会議を開催した。なお、介護部においては、

処遇方針の決定及び処遇方法等の意思統一のために主任副主任会議を月 1 回開催し、また、ケアの質の向上や支援方法の周知等のためにグループ毎にケアワーカー会議を月 1 回開催した。個々の利用者への支援内容については、サービス管理責任者が個別支援計画の作成等のためのケアプラン会議（支援会議）も定期的に開催した。

（３）災害対策（資料 ２５）

火災、地震等の災害に備え、毎月 1 回利用者の避難訓練を実施するとともに、夜間の災害発生に備え、職員の緊急呼び出し訓練を実施した。また、地震・風水害の防災マニュアルの見直しや備蓄品の充実、メールシステムによる職員招集の構築及び訓練を実施した。

（４）感染症予防対策

インフルエンザの集団発生を予防するため、利用者、職員への予防接種の実施及び職員は勤務中ウイルス除去シートを装着することを義務付けた。ノロウイルス等による感染症発生に対処するため、感染症対策委員会を中心とした研修を実施した。28 年度末にインフルエンザの発症があり直ちに対策の強化・徹底をして拡大を防止した。発生時の対応として嘱託医の処方による予防薬（タミフル）を職員は服薬し拡大防止を図った。

また、1 年を通し、毎朝 5 分間全職員で手すり等の一斉消毒と、感染症の時期には利用者の食事前・外出後の手指の消毒をした。

（５）各種行事（資料 ２４）

利用者に文化的な充足感を味わってもらうために、季節や風習を大切にした各種行事を企画し、楽しく参加できるようにした。

（６）委員会（資料 ２６）

①衛生委員会

労働安全衛生法に基づく衛生委員会を毎月開催し、職員の健康管理及び災害防止等について協議・検討を行った。その他各種専門委員会を開催し、利用者の安全の確保、利便・快適性の向上、楽しい施設生活の実現のために役立てた。

②リスクマネジメント委員会

事故防止対策として、事故をデータ化し、分析や評価を行い「危険の見える化」を図り、効果的な対策を講じ事故防止に努めた。

③身体拘束解消委員会

基本的人権や人間の尊厳を守ることを妨げないよう、利用者の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束その他利用者の行動を制限する行為を行なわないよう対策を行った。

④虐待防止委員会

利用者を虐待という権利侵害から守り、尊厳を保持しながら安定した生活を送ることができるように、職員の意識を高める取組みを実施した。具体的にはアンケートを実施し振り返りや、標語の浸透などを行った。

⑤感染症対策委員会

施設は感染が広がりやすい状況にあることを認識し感染の被害を最小限にするため、平常時から対策を実施するとともに、感染症発生時には感染の拡大防止のため迅速で適切な対応を図った。

⑥その他委員会等

職員は、それぞれ担当する委員会や係の目的を達成できるよう努めた。

第3 部門別活動状況

1 事務部門

顧問会計士及び社会保険労務士等との連携を密にし、コンプライアンス（法令遵守）とモラルの遵守を常に念頭に置き、また、法人内規則・規程の熟知を心掛け、正確かつ迅速な事務処理を行うよう努めた。

- ① 新会計基準が適正かつ円滑に実施できるよう、法人会計実務の知識の習得に努めるとともに、法人事務担当者会議に出席し、施設間の連絡・連携を図り情報の共有に心掛けた。
- ② 予算の有効活用が図られるよう、職種部門間の連携に努めた。
- ③ 障害者総合支援法請求事務や利用者負担金請求事務に関し、請求誤り、漏れが無いよう法改正や請求ソフト使用方法等の変更に的確に対応できるよう努めた。
- ④ 積極的に OA 機器を活用し、事務の効率化に努めた。
- ⑤ 日用品、消耗品等の計画的な購入・管理に努め、コストの低減に心掛けた。
- ⑥ 施設設備、器具、備品の保守管理を徹底し、施設機能の維持に努めた。

2 相談部門

相談援助や他部署との協働、個別支援計画の作成、預り金関係の適正な管理事務、他機関との連携、家族への連絡等、利用者の生活の質の向上に係る業務を主として実施した。

- ① サービス管理責任者を中心に、個別支援計画に基づいたサービスの実現や評価等に努めた。
- ② 個別支援計画の確実な実現に向けて介護職員を支援・指導した。
- ③ 利用者に必要な情報を適切な方法・わかりやすい表現を用いて提供し、利用者の意思を確認した。施設利用に際しては、利用者及び家族への十分な説明と情報の提供に努めた。
- ④ サービス利用に伴う各種手続き等事務代行を的確に実施した。
- ⑤ 地域の貴重な社会資源として地域のニーズに的確に応えるため、施設機能の充実及び職員の資質の向上に努めた。
- ⑥ 他施設、関係機関、関係団体等との情報の交換及び連携に努めた。
- ⑦ 利用者預り金等の適正な管理に努めた。
- ⑧ 利用者の自己決定を尊重し、利用者がその権利を十分に理解・活用していけるように援助するとともに、意思決定能力の不十分な利用者に対して、常に最善の方法を用いて利益と権利を擁護した。
- ⑨ 利用者のプライバシーを最大限に尊重し、利用者や関係者からの情報の徴取は、業務上必要な範囲にとどめ、その秘密を保持した。
- ⑩ 利用者の援助のために利用者に関する情報を関係機関・関係職員と共有する場合、その秘密を保持するよう最善の方策を用いた。
- ⑪ 常に業務を点検、評価を行い、業務の改善に努めた。

3 介護部門

(1) 支援体制全般

各部署との連携、協力の下、利用者個々人に対しきめ細かな支援ができた。また、クラブ活動、リラクゼーション等の余暇、生きがい活動に関わる支援は、日中活動担当を中心に、グループ横断的に展開した。就労的要素のある作業創作活動では、個々の作業能力が十分活用できるよう工夫した。作業、創作活動に馴染みにくい利用者については、日常生活に楽しみや張り合いを感じてもらえるよう、ぽかぽか農園（果樹園、散歩道、畑）の活用に加え、ミュージックケアを実施し、心身に快い刺激を与え情緒の安定を図ることができた。

また、利用者の生活や人間関係が施設の中に留まらないよう、積極的に地域に出掛け、あるいは地域の方を招いて、多くの人とコミュニケーションが図れる機会を提供することにより地域交流の拡がりや光陽荘利用者に対する地域住民の理解を深めることができた。

ご家族には利用者の施設での生活状況をいつでもご覧いただくとともに、必要に応じて個々の利用者の様子を連絡するなど良好な関係の維持に努めた。

利用者一人ひとりからニーズの聞き取りを行い、サービス管理責任者がケアプランを作成するとともに、利用者懇談会等を通して、利用者の要望、意見を把握した。これらをケアワーカー会議、主任副主任会議、ケアプラン会議において話し合い合意形成を図り、利用者への支援の充実に繋げた。記録管理システムの活用においても、業務の効率化、各部署での情報の共有、データの管理、集計などを行った。

(2) 資料編より

① 苦情解決（資料 11）

苦情受付窓口を設置し、利用者からの苦情に真摯に対応するとともに、苦情解決第三者委員に対する報告の場を設け助言を受けた。

② 事故防止・虐待防止（資料 18）

施設内の事故防止のため安全な動線の確保、適切な職員配置及びリスクマネジメントの徹底に努めた。身体拘束についてはご家族の同意を得たうえで緊急やむを得ない場合に限り行うこととし、極めて慎重に取り扱うことを徹底した。虐待については障害者虐待防止法の理解と遵守を図り、虐待防止委員会において虐待に対する自己評価や意識調査を行った。

③ 職員研修（資料 28）

利用者の障害特性を理解し、より適切な支援を行うために、職員の各種研修会への参加並びに施設内研修等を積極的に推進した。施設内研修では、成年後見人制度・認知症の理解について外部講師を招き学習した。また、新人職員にはチューター制による相談相手のいる環境を作り、知識や技術を習得させ専門性を高めた。

④ 平日の活動（資料 22）

平日は作業創作活動・リラクゼーション・クラブ活動など定番の活動を自己選択（意思表示のできない利用者へは職員が気持ちをくみ取り選択）し、参加していただくとともに週末はフリータイムでのんびり自由に過ごす生活スタイルを基本とした。同時に、月単位、年単位でバラエティーに富んだ楽しみを提供することで、選択肢を広げ施設の中で画一的に暮らすことがないよう工夫できた。

⑤ 希望外出（資料 23）

利用者一人平均月 2 回ほどのお出かけバスの外出とは別に、個別に希望された少し特別な外出により、非日常的な楽しい体験ができるようにその機会を提供した。利用者個々に年に 2 回は希望が叶えられるよう計画実施し喜ばれた。

⑥ イベント・交流等（資料 16・17・24）

納涼祭や収穫祭など、地域の方を多く招き交流を深めた。音楽クラブや和太鼓クラブは施設外での出演依頼も増え多くのイベントに参加することができた。利用者の社会参加や地域での認知度を高めることができている。

⑦ 作業・創作活動（資料 22(1)）

作業創作活動（平日の午前中）は、利用者の障害特性をふまえて、「働くこと」や「施設外交流」を意識し支援に努めた。出来上がった品物は利用者自らも販売に携わり、自分の作った小物や農作物が売れる喜びを感じ、工賃を受けることが張り合いや励みに繋がっている。

⑧ リラクゼーション（資料 22(2)）

作業創作活動に参加が難しい利用者は、平日の午前中、「ぼかぼか農園」に出掛け、草花や土風に触れながら散歩を楽しみ、体力増進や気分転換が図れた。農園で採れたブルーベリーなどその場でもぎ取って味わうなど季節感あふれる体験の機会が提供できた。なお、雨天時は、音楽や荘内散歩など天候にかかわらず楽しみな活動を展開している。

⑨ クラブ活動（資料 22(2)）

音楽クラブ・和太鼓クラブ・クッキングクラブ・スポレククラブ・点字クラブ・生花クラブを毎月各 1 回実施し、笑顔・生きがい・自己実現・地域交流に繋がる活動が提供できた。

⑩ 個別支援（資料 23）

利用者の生活が施設の中に留まらないよう、定期的（週 1 回）な外出とは別に、利用者の希望する外出や、非日常的な楽しい体験ができる外出の機会を提供する。

⑪ その他基本的な生活支援（資料 5・6・7 等）

食事・入浴・排泄・整容等の基本的な生活並びに居住空間の掃除・整理整頓を常に心掛け、清潔で快適な生活が提供できる支援を行った。

常に利用者の「人権」を尊重し、利用者が主体的に生きていけるよう、創意工夫をもって支援・介護を行った。

4 医務部門（資料 12・13）

① 利用者、職員の健康保持及び衛生管理に努めた。

② 利用者、職員の健康管理のため、年 2 回の健康診断を実施し、再検査の必要な職員に対しては受診勧奨を行った。

③ 利用者の身体状況の変化や医療上の変化を的確に捉え、嘱託医、協力医療機関の協力を得て、疾病の予防と早期対応を図った。

④ 利用者が入院したときは、病院医療又は家族との緊密な連携の下に、利用者の支援に努めた。

⑤ 利用者の健康状況を常に掌握し、適切な支援を行うとともに、家族に対し医療情報の積極的な提供に努めた。

⑥ インフルエンザワクチン等予防接種の実施並びにその他の感染症の早期発見、早期治療に努

め、感染症対策を徹底した。

- ⑦ 投薬の管理等に細心の注意をもって当たった。
- ⑧ 利用者の便秘による苦痛の軽減を図るため、自然排便の習慣付けを促進し、運動、水分摂取、下剤の調節等について助言、支援を行った。
- ⑨ 嘱託内科医・精神科医指示の下、適時適切な受診を行った。
- ⑩ 地域の病院施設連絡会に参加し、利用者に対するよりよいサービスの提供のための情報の収集に努めた。
- ⑪ 口腔衛生の保持のため歯科衛生士による口腔ケアを実施するとともに、年に一度歯科検診を実施し、健康な歯の保持に努めた。

5 調理部門（資料 24（3））

- ① 食を通して季節感を味わうことの出来るメニューの作成及び適温給食の提供に努めた。また、リクエスト食を取り入れ、利用者一人ひとりが自分の選択により食事を楽しむ機会を増やした。
- ② 委託業者との合同による給食会議を開催し、介護現場の意見、利用者の希望が反映できる充実した食事サービスの提供に努めた。
- ③ 美味しく食事提供ができるよう食堂内の雰囲気づくりを行った。
- ④ 嗜好調査を実施し、嗜好に沿った食事サービスの提供に努めた。
- ⑤ 医務室との連携の下、利用者の健康診断結果を踏まえて食事内容を調整した。
- ⑥ 常に衛生管理に配慮し、食中毒の未然防止を図った。
- ⑦ 栄養ケアマネジメントを行い、個々の栄養状態・身体状況に合わせたプランを作成し、健康状態の維持・向上に努めた。

第4 短期入所事業

利用者への支援はもちろん、介護者であるご家族の介護量の負担軽減にも役立て、在宅生活が続けられるよう、短期入所のニーズに適切に応えた。他事業所と併用して利用される方も多いため、常に情報の交換を行うなど連携を図りながら、スムーズな受け入れやよりよいサービス提供に努めた。

〔日中一時支援事業：障害者総合支援法に係る菊川市・掛川市委託事業〕

障害児（者）の日中の生活を一時的に確保する場とし、市町から委託を受け地域生活支援を行う。

平成28年度における通所希望者については、同じサービス内容の生活介護を利用してもらうことでニーズに応えられている。生活介護の要件に該当しないケースの場合は、日中一時支援の利用を考える。

第5 共同生活援助事業「グループホームたんぽぽ」

グループホームにおいては職員のサポートを受けながら家庭的な生活が送れるよう支援した。自分の空間（個室）ではプライバシーに配慮された自由な時間が確保され、共有スペースにおいては団欒の時間を楽しむことができるよう配慮した。

日中活動では、平日は光陽荘の「生活介護」を利用し、光陽荘入所者と同様の活動を楽しみ、週末や帰宅後は「たんぽぽ」独自の外出やイベントを企画・実施するなど、幅広い活動参加や潤いのある生活を送ることができた。なかでも、季節を感じられるジャム作りや梅干し作りなどは利用者からも好評であり、楽しみにされている。また、近場ではあったが日帰り旅行も実施した。

利用者一人ひとりの支援については、サービス管理責任者（光陽荘兼務）が、個別支援計画を作成し、自立や社会参加、笑顔のある日常生活といった視点で目標を立て、支援員は計画に基づいたサービスを提供した。

<各種活動支援>

（１）日中活動

バックアップ施設である光陽荘生活介護サービスの、作業創作活動、及びクラブ活動、各種行事等に利用者個々人の希望に合わせ参加した。

季節行事・イベントは光陽荘の行事にも参加した。

（２）食事

利用者が世話人等の支援を得て、計画・調達・調理した。また、必要に応じて光陽荘調理室が支援した。

（３）健康管理

定期健康診断を光陽荘利用者に合わせて年２回実施した。必要な受診についても付き添い等の支援を行った。なお、歯科検診及び歯科衛生士による口腔ケアについても、光陽荘利用者と同様に行なった。

（４）余暇活動

日々の生活において生きがいをもって豊かに過ごせるよう、余暇の過ごし方を利用者が中心となって作りあげた。世話人等はこれを積極的に支援した。

また、外出を積極的に行い地域の催しに参加するなど、地域住民との接触に努め、地域居住者としての意識を持てるよう支援した。

（５）災害、防災

ホームスプリンクラー及び自動火災報知設備、インターホーン、非常呼び出しセンサー等の設備に加えて、夜間支援従事者を配置することにより、災害・防災体制の万全を図った。加えて、常に光陽荘との連携を図った。また、地元自治会が実施する地域防災訓練にも参加した。

（６）苦情相談・解決

光陽荘と共通の苦情相談窓口・体制において真摯に対応するとともに、苦情解決第三者委員に対する報告の場を設け助言を受けた。

（７）金銭管理

利用者等から預託された金銭及び各種書類の扱い及び利用者及び家族等への報告等については、光陽荘と同様の取り扱いをした。

(8) 夜間支援体制

夜間から早朝にかけて、夜間支援従事者1名を配置した。また、世話人等と協力し夕食・朝食の調理・介助、入浴・排泄の介助、洗濯、居室・衣類等の整理整頓など各種の支援を行なった。

第6 特定相談支援事業「光陽荘障害者相談センターすてっぷ」

障害福祉サービスを希望する施設入所者及び在宅障害者の要請に応じて、サービス等利用計画案の作成を行った。また、定期または随時に計画の評価・見直し（モニタリング）を行った。計画の作成等だけでなく、担当利用者の突発的な相談等にも応じ、必要な支援等をコーディネートできた。

また、当年度は、相談支援専門員を1名から2名に増員し、これまで以上に地域における相談支援のニーズにも応えることができた。

また、近隣の相談支援事業所及び行政の集まりである東遠地区自立支援協議会相談部会に出席し、他の事業所と情報交換をするなど地域の実情や課題についての把握や連携に努めた。

サービス等利用計画案の作成実績

種 別	平成28年度	平成27年度
サービス等利用計画案	47件	33件
モニタリング報告書(サービス利用計画の見直し)	45件	35件

資料編

(平成28年度/平成29年3月31日現在)

光 陽 荘

- 1 障害支援区分別利用(入所)者数
- 2 年齢別利用(入所)者数
- 3 利用(入所)者平均年齢
- 4 在所期間別利用(入所)数
- 5 食事介助状況者数
- 6 入浴介助状況者数
- 7 排泄介助状況者数
- 8 面会状況
- 9 帰省(外泊)状況
- 10 入所・退所状況
- 11 苦情受付状況
- 12 他医療機関への受診状況(延人数)
- 13 利用者医療状況
- 14 所在状況
- 15 入所申込み(待機者)状況
- 16 ボランティア(余暇支援)状況
- 17 ボランティア(奉仕)状況
- 18 事故調査状況
- 19 実習状況
- 20 短期入所利用状況 生活介護利用状況
- 21 施設入所利用状況 グループホーム利用状況
- 22 全体的支援の状況
- 23 個別的支援の状況
- 24 行事の状況
- 25 避難防災訓練の状況
- 26 各種専門委員会の状況
- 27 家族会との連携状況
- 28 職員研修状況
- 29 職員被表彰者の状況
- 30 協力医療機関・通院機関の状況

I. 利用実績

1 障害支援区分別利用(入所)者数

光陽荘

(平成29年3月31日現在)

	区分1・2	区分3	区分4	区分5	区分6	合 計
男 性	0	0	0	0	20	20
女 性	0	0	1	2	25	28
合 計	0	0	1	2	45	48
割合(%)	0.0%	0.0%	2.1%	4.2%	93.8%	100.0%
平均障害支援区分	5.92 (男性 6.00 女性 5.86)					
平成28年度	5.94 (男性 5.95 女性 5.93)					

たんぽぽ

(平成29年3月31日現在)

	区分1・2	区分3	区分4	区分5	区分6	合 計
男 性	0	0	0	0	1	1
女 性	0	0	0	3	1	4
合 計	0	0	0	3	2	5
割合(%)	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	40.0%	100.0%
平均障害支援区分	5.65 (男性 6.00 女性 5.50)					
平成27年度	5.60 (男性 6.00 女性 5.50)					

2 年齢別利用(入所)者数

光陽荘

(平成29年3月31日現在)

	20歳以下	21歳～30歳	31歳～40歳	41歳～50歳	51歳～60歳	61歳～64歳	65歳～69歳	70歳以上	80歳以上	合 計
男 性	0	2	1	9	3	2	2	0	1	20
女 性	0	1	1	11	6	3	4	1	1	28
合 計	0	3	2	20	9	5	6	1	2	48

(平成28年3月31日現在)

	合 計
男 性	22
女 性	28
合 計	50

たんぽぽ

(平成29年3月31日現在)

	20歳以下	21歳～30歳	31歳～40歳	41歳～50歳	51歳～60歳	61歳～64歳	65歳～69歳	70歳以上	80歳以上	合 計
男 性	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
女 性	0	0	0	2	1	0	0	1	0	4
合 計	0	0	0	3	1	0	0	1	0	5

(平成28年3月31日現在)

	合 計
男 性	1
女 性	4
合 計	5

3 利用(入所)者平均年齢

光陽荘

(平成29年3月31日現在)

	平均年齢	最低年齢	最高年齢
男 性	50.8	25	80
女 性	54.1	20	85
合 計	52.7		

(平成28年3月31日現在)

	平均年齢	最低年齢	最高年齢
男 性	50.2	24	79
女 性	55.1	38	84
合 計	52.9		

たんぽぽ

(平成29年3月31日現在)

	平均年齢	最低年齢	最高年齢
男 性(1人)	49.0	49	
女 性(4人)	57.3	49	72
合 計	55.6		

(平成28年3月31日現在)

	平均年齢	最低年齢	最高年齢
男 性	48.0	48	
女 性	56.3	48	71
合 計	54.6		

4 在所期間別利用(入所)数

光陽荘

(平成29年3月31日現在)

	1年未満	1年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年～20年未満	20年以上	合 計	平均在所期間
男 性	0	0	6	5	0	9	20	
女 性	1	3	3	2	5	14	28	
合 計	1	3	9	7	5	23	48	17年9か月

たんぽぽ

(平成29年3月31日現在)

	1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～7年未満	7年～9年未満	9年以上	合計	平均在所期間
男 性	0	0	0	0	0	1	1	
女 性	0	0	0	1	0	3	4	
合 計	0	0	0	1	0	4	5	10年7か月

5 食事介助状況者数

(平成29年3月31日現在)

区 分	人 数	割 合
全面介助者	2	4.2%
一部介助者	46	95.8%
介 助 な し	0	0.0%

(平成28年3月31日現在)

区 分	人 数	割 合
全面介助者	4	8.0%
一部介助者	42	84.0%
介 助 な し	4	8.0%

6 入浴介助状況者数

(平成29年3月31日現在)

区 分	人 数	割 合
特 別 浴	1	2.1%
個 浴	12	25.0%

(平成28年3月31日現在)

区 分	人 数	割 合
特 別 浴	2	4.0%
個 浴	11	22.0%

7 排泄介助状況者数

(平成29年3月31日現在)

区 分	人 数	割 合
おむつ使用者	4	8.3%
紙パンツ又はトイレ介助者、 ポータブルトイレ使用者	40	83.3%
見守り	4	8.3%

(平成28年3月31日現在)

区 分	人 数	割 合
おむつ使用者	5	10.0%
紙パンツ又はトイレ介助者 ポータブルトイレ使用者	40	80.0%
見守り	5	10.0%

8 面会状況

(平成28年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	平成27年度
人 数	53	47	69	33	24	27	23	18	26	27	22	24	393人	463人
1日平均人数	1.8	1.5	2.3	1.1	0.8	0.9	0.7	0.6	0.8	0.9	0.8	0.8	1.1人	1.3人

9 帰省(外泊)状況

(平成28年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	平成27年度
人 数	4	6	3	4	7	2	2	4	10	10	1	1	54人	57人
日 数	9	9	3	1	39	0	0	3	28	34	0	0	126日	143日

人数は実人数・日数は不在籍数

10 入所・退所状況

(平成28年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	平成27年度
入居者数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1人	2人
退去者数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	3人	2人
月末在籍者数	50	50	50	49	49	50	50	50	50	50	49	48	595人	596人

11 苦情受付状況

1) 苦情受付件数

(平成28年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	平成27年度
苦情受付件数	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	4件	5件

*在宅利用者含む

2) 苦情の分類一覧 (平成28年度)

苦 情 の 分 類	件 数
ケアの内容に関わる事項	1
個人の嗜好・選択に関わる事項	0
他の利用者・職員に関わる事項	2
面会者に関わる事項	0
財産管理等に関わる事項	0
施設内規に関する事項	0
その他	2
合 計	5件

(平成27年度)

苦 情 の 分 類	件 数
ケアの内容に関わる事項	1
個人の嗜好・選択に関わる事項	1
他の利用者・職員に関わる事項	0
面会者に関わる事項	0
財産管理等に関わる事項	0
施設内規に関する事項	0
その他	3
合 計	5件

12 他医療機関への受診状況(延人数)

(平成28年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平成27年度
内 科	0	5	1	0	0	1	0	1	1	2	2	7	20人	27人
精神科	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3人	3人
脳外科	1	1	1	1	2	1	0	1	1	0	2	2	13人	9人
整形外科	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1	4人	26人
外 科	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2人	4人
泌尿器科	2	2	2	0	1	2	2	2	3	1	2	1	20人	29人
眼 科	1	1	4	1	3	4	1	1	4	1	2	4	27人	30人
皮膚科	0	2	0	2	6	1	2	0	0	0	2	0	15人	11人
耳鼻科	1	1	1	0	2	2	1	2	1	0	2	0	13人	12人
歯 科	6	6	1	0	3	0	2	0	0	2	5	0	25人	20人
婦人科	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5人	4人
消化器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1人	0人
合 計	12人	21人	13人	6人	17人	12人	10人	7人	10人	6人	19人	15人	148人	175人

嘱託医による受診(往診)状況(延人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平成27年度
内 科	22	23	24	25	25	26	22	71	24	20	24	20	326人	345人
精神科	30	28	26	25	28	27	58	0	58	29	29	28	366人	364人
合 計	52人	51人	50人	50人	53人	53人	80人	71人	82人	49人	53人	48人	692人	709人

13 入所者・利用者医療状況

1) 入院状況

(平成28年度)

治療科	人数	治療科	人数	平成27年度
内科	3	泌尿器科		5
精神科	2	整形外科		1
眼科		口腔外科		
脳外科				

2) 処置状況

(平成29年3月31日現在)

処置状況	人数	処置状況	人数	平成27年度
経口与薬	41	経管栄養	0	44
尿カテーテル留置	1	酸素吸入	0	2
創傷処置	随時	浣腸、排便	2	随時
軟膏塗布	随時	湿布等(痛み緩和剤)	1	随時
点 眼	7			5

14 所在状況

(平成29年3月31日現在)

市町名	在籍者数	入所・退所状況		平成28年3月31日現在			市町名	在籍者数	入所・退所状況		平成28年3月31日現在		
		入居	退去	在籍者数	入所	退所			入居	退去	在籍者数	入所	退所
下田市	1			1			焼津市	3			3		
南伊豆町	1			1			藤枝市	4			4		
松崎町	1			1			牧之原市	2			2		
東伊豆町	1			1	1		吉田町	1			1		
伊東市	1			1			川根本町	0		1	1		
沼津市	2			2			浜松市	6	1		5		
三島市	1			1			磐田市	3			3	1	
伊豆市	1			1			掛川市	1			1		1
伊豆の国市	0		1	1			湖西市	1			1		
清水町	0			0			森町	1			1		
御殿場市	1			1			神奈川県横須賀市	1			1		
富士宮市	1			1			東京都足立区	1			1		
富士市	1		1	2			岐阜県大野町	1			1		
静岡市	6			6		1	御前崎市	1			1	1	
島田市	4			4			合 計	48人	1人	3人	50人	2人	2人

15 入所申込み(待機者)状況

(平成29年3月31日現在)

市区町名	申込者数	平成28年3月31日現在	市区町名	申込者数	平成28年3月31日現在
菊川市	1	1	静岡市清水区	1	1
御前崎市	1	2	静岡市葵区	1	
磐田市	2	1	掛川市	3	
浜松市中区	1	2	愛知県岡崎市	1	1
浜松市南区	0	1	神奈川県横須賀市	1	1
浜松市浜北区	1	1			
浜松市天竜区	1	1	合 計	14人	12人

16 ボランティア(余暇支援)状況

(敬称略)

(平成28年度)

月 日	団体名(代表者名)および個人名	人数	内 容
9月30日	もみじの会	20名程度	詩吟・歌披露
10月29日	ファンキーパロッツジャズオーケストラ	12名	秋の収穫祭にてバンド演奏披露
12月13日	明日への会	7名	クリスマス会にてオカリナ演奏披露

17 ボランティア(奉仕)状況

(敬称略)

(平成28年度)

団体名(代表者名)および個人名	内 容	年間延日数	実人数	活動日
家族会	施設整備(農園、施設周辺の草取り)	1	32	5月21日
市民	創作活動手伝い	33	1	定期(月2~3回)
市民	縫い物	9	2	定期(月1回)
小学生・中学生 (ボランティア体験)	創作活動・洗濯畳み・畑作業	5	4	夏休み
市民・若葉会 元職員・職員の知人	納涼祭模擬店	1	9	8月20日
小学生 (ボランティア体験)	創作活動・洗濯畳み	2	2	冬休み
家族	焼き芋作り	1	4	11月30日
家族	施設・農園の草取り等	60	6	随時
市民・えぷろんの会	餅つき大会手伝い	1	9	5月18日
	合 計	113日	69人	

平成27年度 合計	
年間日数138日	年間人数 68人

その他協力者(ボランティア・販売) (敬称略)

団体名(代表者名)および個人名	内 容	年間延回数	実人数	活動日
岡田先生	音楽指導・ピアノライブ・イベント参加	17	1	月曜日・イベント時
駄菓子やっこ	駄菓子の販売	12	2	第1水曜日
中村美容室	散髪	22	2	第2・第4月曜日
友の輪商事	車椅子点検・販売	12	1	第2月曜日
草笛	パン販売	12	1	第3月曜日
Mネット東遠	クリーニング	2	3	秋祭り・冬物衣料
点訳サークル泉	点字指導・交流	10	10	第4月曜日
合 計		87人	20人	

その他協力者(寄付者) (敬称略)

寄付者	寄付金品名	寄付日
静岡県西部視覚障害者親の会	金 10,000円	6月14日
施設職員	紙オムツ・パット12袋	8月15日
明るい社会づくり運動菊川地区協議会	タオル 300枚	11月25日
フライスター(株)	金 200,000円	12月19日
フライスター(株)	生パン粉・パン粉	12月19日
その他の寄付金品		点字本・点字カレンダー 他

18 事故調査状況

(平成28年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	27年度
怪我 転倒	2	1	1	1	1	2	2	1	2	2	4	2	21	32
転落・滑落	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	3
摩擦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
食物 誤嚥	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
異食・誤飲	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4
経管栄養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
薬 誤薬	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
投薬忘れ	0	1	0	2	0	0	0	0	2	2	1	1	9	11
内服薬	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
配薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ケア 爪切り	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
ケア提供	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ショート忘れ物	0	2	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0	8	7
物損 私物紛失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
物損	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	3	8
利用者同士のトラブル	2	1	3	1	2	1	0	0	1	2	0	1	14	17
													0	0
その他	6	6	7	7	4	10	6	4	2	3	4	5	64	36
合 計	11	13	14	13	7	15	9	6	7	11	11	10	127	131

19 実習状況

(平成28年度)

学 校 名 等	実 習 名	年間延日数	実人数	平成27年度	
静岡福祉大学	介護福祉実習	20	1	40	2
東海福祉専門学校	介護実習	0	0		
静岡歯科衛生士専門学校	臨地実習(歯科衛生士養成課程)	0	0		

浜松大学	臨地実習(管理栄養士養成課程)	0	0	5	1
合計		20日	1人	45日	3人

介護等体験

(平成28年度)

学校名等	実習名	年間延日数	実人数	平成27年度	
岳洋中学	福祉体験	0	0	1	33
焼津高校	職場体験	0	0	2	1
掛川特別支援学校	教育実習	1	1	0	0
合計		1日	1人	3日	34人

20 短期入所利用状況 生活介護利用状況

短期入所

(平成28年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成27年度
利用者人数	12	9	9	10	12	11	10	11	10	13	8	7	122人	125人
延べ利用日数	70	71	62	57	74	43	35	54	42	50	40	25	623日	545日
1日平均	2.3	2.3	2.1	1.8	2.4	1.4	1.1	1.8	1.4	1.6	1.4	0.8	1.7人	1.5人
利用率	58.3%	57.3%	51.7%	46.0%	59.7%	35.8%	28.2%	45.0%	33.9%	40.3%	35.7%	20.1%	42.7%	37.2%

生活介護

(平成28年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成27年度
利用者人数	67	62	61	63	67	64	65	65	64	68	64	59	769人	778人
延べ利用日数	1,259	1,293	1,224	1,276	1,270	1,232	1,289	1,242	1,283	1,290	1,128	1,215	15,001日	15,013日
1日平均	57.2	56.2	55.6	55.5	55.2	56.0	56.0	56.5	55.8	56.1	56.4	52.8	55.8人	55.6人
利用率	114.5%	112.4%	111.3%	111.0%	110.4%	112.0%	112.1%	112.9%	111.6%	112.2%	112.8%	105.7%	111.5%	111.2%

21 施設入所利用状況 グループホーム利用状況

施設入所

(平成28年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成27年度
利用者人数	50	50	49	50	49	50	50	50	50	50	50	49	597人	600人
延べ利用日数	1,491	1,526	1,467	1,516	1,480	1,500	1,550	1,497	1,521	1,516	1,400	1,468	17,932日	17,877日
1日平均	49.7	49.2	48.9	48.9	47.7	50.0	50.0	49.9	49.1	48.9	50.0	47.4	49.1人	48.8人
利用率	99.4%	98.5%	97.8%	97.8%	95.5%	100.0%	100.0%	99.8%	98.1%	97.8%	100.0%	94.7%	98.3%	97.7%

グループホーム

(平成28年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成26年度
利用者人数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60人	60人
延べ利用日数	150	155	150	155	154	150	155	150	155	155	140	155	1,824日	1,830日
1日平均	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0人	5.0人
利用率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.4%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.95%	100.0%

2 2 全体的支援の状況

(1) 作業創作活動（工賃を支払う活動）

活動名	内容	活動日	人数
作業・創作活動	洗濯たたみ・畑・エプロン畳み・ゴミ集め・おしぼり作り・作品作り	(月)～(金) 午前中	14 人
コーヒー喫茶	コーヒー販売（喫茶店形式）	月 1 回	1 人

(2) クラブ活動及びその他の活動

クラブ名	内容	活動日	人数
音楽クラブ	パート、曲の練習・ 行事、コンサートへの参加	第 1 月曜日 PM	11 人 (主な演奏者 7 人)
和太鼓クラブ	基本打ちの練習・納涼祭参加・ コンサートへの参加	第 1 月曜日 PM	11 人
クッキングクラブ	おやつ・料理・飲み物作り他	第 3 月曜日 PM	16 名
スポレククラブ	練習・試合・ゲーム・運動器具活用	第 2 月曜日 PM	全利用者
点字クラブ	点訳サークル泉との交流 点字・平仮名の練習	第 4 月曜日 PM	9 人
生花クラブ	花器選び・リース・ フラワーアレンジメント	第 5 月曜日 PM	10 人
リラクゼーション	ぽかぽか農園・散歩・音楽鑑賞・朗 読・野菜の収穫	(月)～(金) 午前中	36 人
懇談会	行事予定の説明・連絡・話し合い	第 4 水曜日 PM	自由参加 25 名程度
買い物・ドライブ	買い物・ドライブ <行先> 菊川市内・掛川・牧之原・島田・御 前崎等	木曜日 午後	全利用者 約 20 人/回 1 人平均 2 回/月

2 3 個別的支援の状況

(1) 一般外出等

内容	回数	人数
個別支援外出（買い物・外食・協力病院以外の通院等）	随時	希望者
散髪（理髪店での散髪希望者）	20 便	48 人/延

(2) 希望外出

実施日	プラン名	行先	人数
5 月 26 日	個別支援 さわやか	さわやか菊川店	名
5 月 13 日	希望外出 日帰り温泉バイキングの旅 (たんぽぽ 3 名・光陽荘 10 名)	時の栖川根温泉ホテル	13 名
7 月 11 日	個別支援 らーめんを味わう	らーめん屋 若虎	5 名
7 月 14 日	個別支援 回転寿司を食べよう	かっぱ寿司菊川店	6 名
8 月 18 日	個別支援 らーめんを味わう	あじ助 掛川店	1 名

8月18日	個別支援 美味しいカレーを食べ島田市を満喫しよう	島田市ガングス川	2名
8月25日	バーベキュー	施設内	9名
9月13日	個別支援 敬老会	河城小学校	2名
9月15日	静岡ご当地グルメ旅 さわやかのハンバーグを食べよう	さわやか菊川店	2名
9月23日	個別支援 ココスメニューを楽しむ	ココス菊川店	2名
10月5日	個別支援カラオケ	まねきネコ 半済店	3名
10月7日	個別支援 好きなラーメンを選んで食べよう	五味八珍 菊川店	6名
10月16日	やきそば祭り	潮海寺公民館	5名
10月27日	個別支援 バイクキング	どんどこ浅羽	5名
11月14日	希望外出 ららぽーと&ランチ たんぽぽ2名・光陽荘9名	ららぽーと	11名
11月17日	個別支援 楽しく焼き鳥ビール	扇屋 菊川店	1名
11月23日	個別支援 ドコモショップに電池交換	ドコモショップ菊川店	1名
11月24日	個別支援 魚河岸寿司	魚河岸寿司 菊川店	1名
12月5日	菊川市企画障害者週間キャンペーン	スーパーラック・小笠静鉄スト7	2名
12月19日	個別支援 若虎でラーメンを楽しむ	こだわりらーめん若虎	3名
1月8日	個別支援 成人式	アエル	1名
3月23日	個別支援 いちご狩り	ピーターパン	6名
3月27日	個別支援 スタミナ太郎	榛原郡榛原町スタミナ太郎	2人
3月29日	個別支援 トンカツ	とんかつ前田 掛川市	1名

(3) 歯科検診・口腔ケア

4月	口腔ケア	41人	10月	口腔ケア	41人
5月	口腔ケア	41人	11月	口腔ケア	41人
6月	口腔ケア	41人	12月	口腔ケア	41人
7月	口腔ケア 歯科検診	41人 54人	1月	口腔ケア	41人
8月	口腔ケア	41人	2月	口腔ケア	41人
9月	口腔ケア	41人	3月	口腔ケア	38人

2.4 行事の状況

(1) 光陽荘・たんぽぽ

4月	お花見（つま恋）・春の健康診断・家族会総会・リネン交換 たんぽぽ開設記念日祝12周年
5月	菖蒲湯・端午の節句・もちつき大会・家族会整備作業（奉仕活動）

	清松園開園際(バンドドロップス出演)
6月	運動会・昼食バイキング・歯科検診
7月	光陽荘開設記念日祝26周年・七夕・参議院議員通常選挙不在者投票
8月	納涼祭・家族会役員会・牧之原音楽マラソン(バンドドロップス出演)
9月	総合防災訓練・菊川町部地区文化展(創作品販売・見学)・千寿の園敬老会(バンドドロップス演奏)
10月	防犯訓練(菊川警察署来荘)・菊川市祭典・ふれあい広場(創作品出展販売・見学) 収穫祭(芋煮&ミニコンサート)
11月	秋の健康診断・東遠まつり(和太鼓 光 出演/創作出店)・焼き芋大会
12月	たんぽぽ地域防災訓練参加(おまつい広場)・障害者週間カレー作り・床ガラス等 年末清掃・家族会役員会・ゆず湯・クリスマス会
1月	新年祝賀会・七草粥
2月	節分・バレンタインデー・グリーンガーデンコンサート(バンド ドロップス参加)
3月	雛まつり・ホワイトデー・家族会役員会・スポレク大会
毎月	懇談会・喫茶・駄菓子販売・パン販売・散髪・ピアノライブ 掛川市役所創作販売『よってっ亭/菊川市堀之内報恩寺釈迦菜』法人販売(納品)

(2) たんぽぽ独自の活動

4月	たんぽぽ開設記念日12周年・草餅づくり
5月	菖蒲湯・ いちごジャムづくり・らっきょう漬作り・たんぽぽミーティング
6月	梅酒づくり・シソジュースづくり・たんぽぽミーティング 日帰り温泉 バイキングの旅(たんぽぽ3名参加)
7月	バーベキュー・たんぽぽミーティング
8月	たんぽぽミーティング
9月	おけや食堂と定期演奏会(希望者1名)・腕時計ベルト購入(希望者1名) たんぽぽミーティング
10月	たんぽぽミーティング
11月	日帰り旅行(キウイカントリーと高田屋)
12月	忘年会
1月	初詣(ことのまま神社・掛川道の駅)
2月	たんぽぽミーティング
3月	草餅作り・たんぽぽミーティング・五味八珍(希望者1名)

(3) 選択食・行事食の提供

	選択食内容	その他 行事食
4月	チンジャオロース 白身フライのタルタルソース(27日)	赤飯 カツオ刺身(昭和の日)
5月	チキンチーズフライ 鮭の味噌チーズ焼き(30日)	うなちらし 柏餅(端午の節句)
6月	小松菜のせ焼き肉井 鶏の照り焼き丼(29日)	昼食バイキング 弁当(運動会)

7月	コーンシューマイ 鮭の揚げ下ろし和え（25日）	ステーキ（開設記念日 シダックス10周年） セタそうめん
8月	牛丼 親子丼（31日）	やきそば おでん フランクフルト （納涼祭） すいとん（終戦記念日）
9月	アジフライ シューマイ（28日）	握り寿司（秋祭り）
10月	エビフライ チキンジンジャー（28日）	ラーメン3種 懐かし給食メニュー
11月	宮崎チキン南蛮 魚のアーモンド揚げ（30日）	
12月	ローストチキン すずきのポワレ ホワイトソースのハンバーグ（21日）	カレー作り（障害者週間） 年越しそば
1月	ささみチーズフライ 鮭の甘味噌焼き（26日）	おせち 雑煮（正月） 七草がゆ
2月	チンジャオロール 揚げ鮭のみぞれかけ（24日）	
3月	チキンピカタ タラの唐揚げねぎソース（27日）	握り寿司（寿司バイキング）

その他、誕生日・職員からのリクエスト食を随時、給食委託業者シダックスによる季節メニューも随時あり。

25 避難防災訓練の状況

	内 容
4月	担当職員による年間計画等打ち合わせ
5月	夜間火災想定避難誘導訓練・防災設備取扱・防災点検
6月	日中火災想定避難誘導訓練・防災設備取扱・防災点検
7月	夜間火災想定避難誘導訓練・防災設備取扱・防災点検
8月	救急救命講習（消防署員による心肺蘇生、AED取り扱い指導）・防災点検
9月	総合訓練（地震予知非常呼び出し訓練・日中地震、火災想定避難誘導訓練、自主防災隊活動・炊き出し訓練）・防災設備取扱・防災点検
10月	夜間火災想定避難誘導訓練・防災設備取扱・防災点検
11月	福祉施設防災の日（日中地震想定避難誘導訓練・自主防災隊活動・防災設備取扱・防災点検）
12月	夜間想定避難誘導訓練・防災設備取扱・防災点検
1月	夜間想定避難誘導訓練・防災設備取扱・防災点検
2月	消防署通報訓練・防災点検
3月	職員への防災設備取扱いの説明・防災点検

2 6 各種委員会の状況

委 員 会 名		
衛生委員会		
リスクマネジメント	職員研修（全体）	あい通信（施設広報誌）
身体拘束解消	新人職員研修	施設整備・備品点検
虐待防止	チューター	防災
感染症対策	処遇向上（介護職員勉強会）	身だしなみ・清潔
懇談会		

2 7 家族会との連携の状況

	内 容
4 月	家族会総会及び互助会全体会・第 1 回役員会
5 月	施設整備事業（ぼかぼか農園・施設周辺草取り）・第 2 回役員会
6 月	運動会
8 月	納涼祭・第 3 回役員会
10 月	収穫祭
11 月	全国盲重複障害者福祉施設協議会参加
11 月	焼き芋大会
12 月	第 4 回役員会
3 月	第 5 回役員会

2 8 職員研修状況

主催・研修先	研修名
全国身体障害者施設協議会	研究大会・経営セミナー
東海北陸地区ブロック	ケアガイドライン普及研修会
福祉サービス検討委員会	年 3 回定例
全国盲重複障害者福祉施設研究協議会	研究大会・運営委員会及び施設長セミナー・職員研修会（盲重複障害者支援について）
東遠地区施設連絡会	施設見学・職員研修（3 回）・保健福祉研修会
静岡県社会福祉協議会	アンガーマネジメントを学ぶ講座・「手の治癒力」タッチングを見直そう・感染症講座（初級編）・共感を得る「ことば」講座・権利擁護・成年後見セミナー・福祉事業所のキャリアパス導入セミナー・福祉職員のためのヒヤリハット、アクシデントセミナー・福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程初任者研修、管理職員研修・福祉職場のストレスマネジメント講座・高齢者虐待防止と実践アプローチ・「実践理論」を活用した専門職教育法講座・口腔のケア講座・楽しく笑顔になれるレクリエーション・精神疾患の理解・福祉職場の組織性向上講座・高齢者の転倒予防講座・急変を見逃さないための救急講座・看護職員研修・障害者虐待防止権利擁護研修管理者コース

静岡県	強度行動障害支援者養成研修・サービス管理責任者等研修・社会福祉施設等職員防災研修会・障害者福祉サービス事業者説明会・ふじのくに型福祉サービス支援事業「草の根セミナー」
静岡県給食協会	給食協会総会・栄養士研修会・調理技術研修会
菊川市消防署	心肺蘇生法講習（救急隊来荘）
菊川市社会福祉協議会	福祉施設等ボランティア担当者会
その他	ミュージックケア初級研修・国際福祉機器展研修・他職種連携口腔機能研修会（小笠掛川歯科医師会）・市総合計画委員会・病院施設連絡会
法人内研修	事例検討会
施設内研修	権利擁護と成年後見制度・認知症について
経理・事務関係	社会福祉施設経営者協議会総会・研修会・福祉人材センター研修・改正育児、介護休業法等説明会・社会福祉法改正について
職員の資質向上、スキルアップ及び制度に対する理解、把握のために各種研修に積極的に参加、施設内研修の充実に努めた。	

29 職員被表彰者の状況

団体名	種類	人数
全国身体障害者施設協議会	永年勤続表彰 15 年	0 名
東海北陸身体障害者施設協議会	永年勤続表彰 15 年	0 名
静岡県社会福祉協議会会長表彰	社会福祉功労者県社協会会長表彰 15 年	3 名
全国盲重複障害者福祉施設協議会	永年勤続表彰 10 年	0 名
菊川市社会福祉協議会会長表彰	社会福祉功労者市社協会会長表彰 10 年	3 名

30 協力医療機関・通院機関 の状況

区分	医師名（所属）・病院名
嘱託医（内科）	笹山可則医師（掛川東病院）
嘱託医（精神科）	野島秀哲医師（岡本クリニック）
協力医療機関	菊川市立総合病院・甲賀歯科医院
産業医	笹山可則医師（掛川東病院）
通院機関	菊川市立総合病院・中東遠総合医療センター・菊川眼科・御前崎病院・あかつちクリニック・甲賀歯科・加藤歯科・杉原脳外科・くにお皮膚科・石崎耳鼻科・うちだクリニック・森クリニック・菊川整形外科等・塩崎クリニック